

## 若宮神社

若宮神社は 1135 年に創建されました。春日大社本殿に右手（東側）にあります。若宮神社は主祭神として天押雲根命（あめのおしくもねのみこと）を祀っています。この神は、水と浄めに関わる神です。周辺には 15 社の末社があり、人々が生きている間に遭遇する難儀から守ってくれる様々な神々を祀っています。

毎年 12 月には、春日大社では若宮神社の神を祀るための重要な儀式である春日若宮おん祭が、4 日間（12/15～12/18）にわたり行われます。おん祭りは、飢餓や疫病を防ぐためにはじまり、1136 年から途切れることなく毎年開催され続けてきました。

春日若宮おん祭の第三夜に、神職は御神体を、若宮神社から御旅所（おたびじょ）と呼ばれる仮殿に運びます。この仮の御殿は松の木で作られており、春日大社の一之鳥居に近い場所にあります。

（この日は 1 日中、神職と奈良地域の演者が）伝統的演芸や音楽などの奉納を行います。これらの演芸や音楽は仮の御殿の面前で供され、春日若宮御祭以外では滅多に見られない珍しいものです。

12 月 17 日の午前零時直前には、御神体は御旅所から若宮神社に戻り、奈良とその住民の守護を続けます。